

別紙 2

◆「乳の社会文化」学術研究の公募について（乳の社会文化ネットワーク）

日本における乳の生産・利用の特質とその形成過程や持続可能性、乳の価値創造活動など「乳」に係る社会的・文化的な学術研究

1. 募集（申請）期間

2018年10月1日（月）～2018年12月31日（月）

2. 募集テーマ・内容

(1) 特定研究

No.	テーマ	内容
①	牛乳乳製品のマーケティング	牛乳乳製品の価値創造に通じるマーケティング研究。例えば、コミュニケーション革新、流通チャネル革新、プライシングに関する研究など
②	牛乳乳製品の食生活への受容	牛乳乳製品の食生活への受容の歴史、受容の現状と課題、「美味しさ」の感情や記憶の創出に関する研究など
③	次世代酪農の可能性	酪農の持続可能性を探るための社会的・文化的な研究。例えば、酪農生産、フードチェーン、制度・政策、評価手法に関する研究など
④	持続可能な開発目標（SDGs）の達成への日本酪農の貢献	SDGsの達成に向けて、日本の酪農（特に乳の生産と利用）が強化すべき機能、改善すべき課題、新たに取り組むべき課題についての研究

(2) 一般研究

No.	テーマ	内容
⑤	乳及び酪農乳業に関する社会的・文化的視点からの研究	牛乳乳製品の食文化的意義、酪農乳業の歴史及び社会経済的な意義に関する研究など

注)「牛乳」「乳」とは、食品としての牛乳乳製品を意味する。（「乳」にはヤギ乳・ヒツジ乳を含む）

3. 研究採用数

上記2（1）、（2）をテーマとする研究計画の応募申請の中から8件程度を採用する。

4. 応募資格

国内の大学及び短期大学、専修学校、国・地方公共団体の設置する研究所、独立行政法人の研究機関等で研究を行う研究者等（大学院生を含む）もしくは特定の機関等に属さない個人研究者とする。

5. 委託研究期間

同一研究計画に対する委託期間は、原則として1年を超えないものとする。なお、研究成果を踏まえ研究の継続を希望する場合は、改めて本学術研究への応募申請を行うことができる。ただし、やむを得ぬ事情がある場合には、審査委員会の審査を経て、委託期間の延長を認めることができる。

6. 委託研究費

年間1件当たり原則として70万円（消費税込）以内とする。ただし、海外渡航調査など多額な費用が含まれる場合、100万円（消費税込）以内とする。

7. 選考方法

「乳の社会文化」学術研究審査委員会が、必要に応じ各分野の専門家の意見を参考とし、決定する。

<審査委員会>

委員長	生源寺 眞一（福島大学農学系教育研究組織設置準備室 教授）
副委員長	小長谷 有紀（国立民族学博物館超域フィールド科学研究部 教授）
委員	阿久澤 良造（日本獣医生命科学大学 学長）
委員	上田 隆穂（学習院大学経済学部経営学科 教授）
委員	鶴川 洋樹（秋田県立大学生物資源科学部アグリビジネス科 教授）
委員	江原 絢子（東京家政学院大学 名誉教授）
委員	大江 靖雄（千葉大学大学院園芸学研究科 教授）
委員	小川 美香子（東京海洋大学学術研究院 准教授）
委員	小林 信一（日本大学生物資源科学部動物資源科学科 教授）
委員	前田 浩史（一般社団法人Jミルク 専務理事）
委員	南山 宏之（株式会社アクサム 代表取締役/ディレクター）
委員	和仁 皓明（西日本食文化研究会 主宰）

8. お問い合わせ先等

詳しい内容は、次のWebサイトから学術研究実施要領をダウンロードしてご確認ください。

<乳の学術連合「学術研究の公募」><http://m-alliance.j-milk.jp/koubo/2019/index.html>

<乳の社会文化ネットワーク>

乳の利用と酪農乳業の発展に関する社会的文化的な研究を通して、わが国乳文化の創造に積極的に貢献することを目的とする一般社団法人Jミルクの外部連携組織。平成24年4月設立。

代表幹事 生源寺 眞一（福島大学農学系教育研究組織設置準備室 教授）

<事務局・お問い合わせ先>

〒104-0045 東京都中央区築地4丁目7番地1号 築地三井ビル5階
一般社団法人Jミルク内「乳の社会文化ネットワーク」事務局 担当：細谷 知広
電話：03-6226-6352 FAX：03-6226-6354 E-mail：t-hosoya@j-milk.jp

2019 年度「乳の学術連合」学術研究

「乳の社会文化」 学術研究の公募

「乳の社会文化ネットワーク」は、
一般社団法人 Jミルクと共同して、
「乳の社会文化」に係る学術研究を公募します。

申請締切日
2018.12.31 Monday



募集研究テーマ

特定研究 テーマ

1 牛乳乳製品のマーケティング

牛乳乳製品の価値創造に通じるマーケティング研究。例えば、コミュニケーション革新、流通チャネル革新、プライシングに関する研究など

2 牛乳乳製品の食生活への受容

牛乳乳製品の食生活への受容の歴史、受容の現状と課題、「美味しさ」の感情や記憶の創出に関する研究など

3 次世代酪農の可能性

酪農の持続可能性を探るための社会的・文化的な研究。例えば、酪農生産、フードチェーン、制度・政策、評価手法に関する研究など

4 持続可能な開発目標（SDGs）の達成への日本酪農の貢献

SDGsの達成に向けて、日本の酪農（特に乳の生産と利用）が強化すべき機能、改善すべき課題、新たに取り組むべき課題についての研究



一般研究 テーマ

5 乳及び酪農乳業に関する社会的・文化的視点からの研究

牛乳乳製品の食文化的意義、酪農乳業の歴史及び社会経済的な意義に関する研究など

注)「牛乳」もしくは「乳」とは、食品としての牛乳乳製品を意味する。(「乳」にはヤギ乳・ヒツジ乳を含む)
上記テーマへの申請のうち 8 件程度を採用します。

募集要項

応募資格 研究者ないし研究グループ(大学院生を含む)。

委託研究期間 原則として1年を超えないものとします。

委託研究費 年間1件当たり原則として70万円以内(消費税込)とします。ただし、海外渡航調査など多額な費用が含まれる場合、100万円以内(消費税込)とします。

選考方法 審査委員会が、必要に応じて各分野の専門家の意見を参考とし、審議決定します。

審査委員会

委員長 生源寺真一(福島大学農学系教育研究組織設置準備室 教授)

副委員長 小長谷有紀(国立民族学博物館超域フィールド科学研究部 教授)

委員 阿久澤良造(日本獣医生命科学大学 学長)

(五十音順) 上田隆穂(学習院大学経済学部経営学学科 教授)

鶴川洋樹(秋田県立大学生物資源科学部

アグリビジネス科 教授)

江原 絢子(東京家政学院大学 名誉教授)

大江 靖雄(千葉大学大学院園芸学研究科 教授)

小川美香子(東京海洋大学学術研究院 准教授)

小林 信一(日本大学生物資源科学部

動物資源科学科 教授)

前田 浩史(一般社団法人Jミルク 専務理事)

南山 宏之(株式会社アクサム 代表取締役

ディレクター)

和 仁 皓 明(西日本食文化研究会 主宰)

詳しくはWebから学術研究実施要領をダウンロードしてください <http://m-alliance.j-milk.jp/koubo/2019/>

一般社団法人 Jミルク内「乳の社会文化ネットワーク」事務局 担当: 細谷 知広 E-mail: t-hosoya@j-milk.jp

〒104-0045 東京都中央区築地4丁目7番1号 築地三井ビル5階 電話 03-6226-6352 FAX 03-6226-6354

